

# 感染症

## 相双地域感染症発生動向調査週報(2026年第19週)

(令和8年5月4日～令和8年5月10日)

令和8年5月14日

定点報告(上段:定点当たり/下段:報告数)、全数報告(報告数)

区分	疾病名	2026年					2025年 合計	2024年 合計
		16週	17週	18週	19週	合計		
定点報告	インフルエンザ	1.33 4	- 0	0.33 1	0.33 1	- 582	- 2,558	- 1,616
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	1.33 4	2.67 8	2.33 7	1.33 4	- 128	- 1,139	- 3,622
	RSウイルス感染症	1.00 2	1.00 2	- 0	0.50 1	- 26	- 156	- 309
	咽頭結膜熱	- 0	0.50 1	0.50 1	- 0	- 4	- 78	- 337
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.50 5	1.50 3	1.50 3	1.00 2	- 71	- 243	- 657
	感染性胃腸炎	1.00 2	1.00 2	1.00 2	1.50 3	- 109	- 430	- 610
	水痘	- 0	- 0	- 0	- 0	- 4	- 10	- 6
	手足口病	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 15	- 952
	伝染性紅斑	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 141	- 0
	突発性発しん	0.50 1	- 0	- 0	- 0	- 12	- 59	- 182
	ヘルパンギーナ	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 4	- 19
	流行性耳下腺炎	- 0	- 0	- 0	- 0	- 1	- 10	- 13
	急性出血性結膜炎	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0
	流行性角結膜炎	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 2	- 9
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	- 0	- 0	- 0	- 0	- 2	- 16	- 1
	クラミジア肺炎	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0
	細菌性髄膜炎	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0
	マイコプラズマ肺炎	- 0	- 0	- 0	- 0	- 10	- 42	- 16
	無菌性髄膜炎	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0
	インフルエンザ入院	- 0	- 0	- 0	- 0	- 7	- 39	- 19
	新型コロナウイルス感染症(入院)	1.00 1	- 0	- 0	- 0	- 21	- 56	- 120
	急性呼吸器感染症(ARI)	54.00 162	53.33 160	55.00 165	46.67 140	- 3,580	- 8849	- -

カラー流行表示は、福島県感染症発生動向調査週報(IDWR)の表示をそのまま表示しています。

新型コロナウイルス感染症	相双地域及び県(県内総数)は、前週と比較して減少しました。他疾患と同様、基本的な感染対策が重要です。
水痘	直近4週において、郡山市、県中、会津からの報告が多い状況です。一般的に「みずぼうそう」として知られ、約2週間の潜伏期間後に全身に小水疱と発熱が生じます。感染経路は飛沫感染、空気感染、接触感染であり、非常に感染力が強い疾患です。小児に限らず大人も感染しますので家庭内の感染に注意し、ワクチン接種の有無を確認しましょう。
結核	本県で1例報告がありました。昨年と同様、高齢者や外国出生者が多くを占めている状況です。外国人労働者を多く雇用する事業所や高齢施設は、既存の感染対策に加え、結核対策としての定期健康診断を実施し、早期発見に努めましょう。
梅毒	本県で1例報告がありました。前年度の同時期より累計報告数が多い状況です。昨年と同様、中核市を中心とした報告が見られています。梅毒は梅毒トレポネマに感染することで生じる全身性の疾患で、感染後、2～3週間後に皮膚症状やリンパ節炎が見られ、未治療のまま放置すると中枢神経症状等、重篤な症状が生じ、致命的となります。また、妊婦が感染すると、胎児に先天性梅毒を生じます。性行為によって感染が広がることから、予防には、パートナー同士の感染有無の確認や、避妊具の適切な利用等の対策が重要です。
麻疹	県内での発生は確認されていませんが、国内の感染者数が増加しています。麻疹(はしか)は麻疹ウイルスによる感染症で、感染すると咳、鼻水、高熱、発しんが生じます。空気感染が主な感染経路であり、極めて感染力が強く、免疫を持たない人が感染者に接するとほぼ全員が感染します。手指消毒やマスクのみでは予防することができません。最も有効な予防法は、ワクチンの接種です。海外からの輸入事例がほとんどであることから、特に海外へ出張・旅行に行く方は、ワクチン接種(2回)の有無を確認し、感染に十分注意しましょう。

大型連休の間に帰省や旅行などで人の移動が増えたことから感染の拡大に注意が必要です。体調の変化に留意するとともに、基本的な感染対策をお願いします。

(参考・引用)福島県感染症発生動向調査、感染症週報、2026年第19号